

表1 迅速診断キットおよびリアルタイム PCR の結果

	A 社			B 社			C 社		
	陽性	陰性	計	陽性	陰性	計	陽性	陰性	計
PCR 陽性	91	19	120	86	34	120	48	72	120
PCR 陰性	0	278	278	0	278	278	0	278	278
計	91	307	398	86	312	398	48	350	398
感度		76%			72%			40%	
特異度		100%			100%			100%	

バラつきがあります。

今後、本院では高感度での診断といたします。

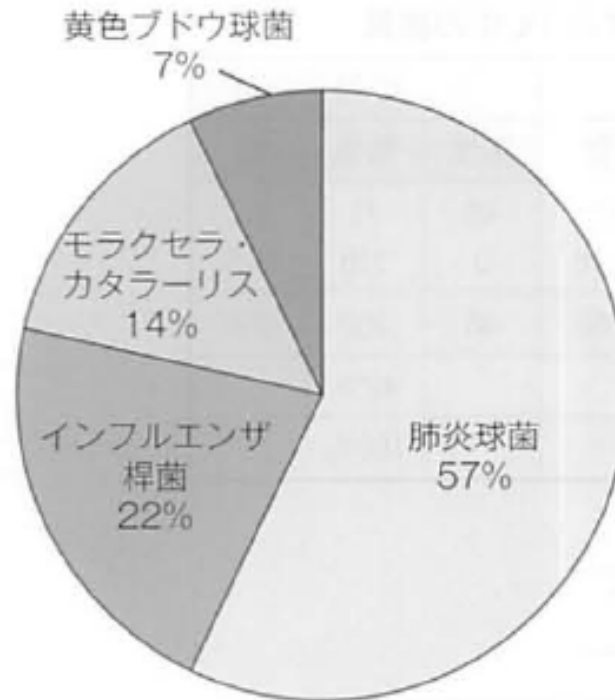


図2 RS ウイルス下気道炎による入院患者の下気道での共感染の起炎菌

ワイドスペクトルのバナン、メイアクトなどが必要でしょうか？

表3 RSウイルス（RSV）感染症とヒトメタニューモウイルス（hMPV）感染症の比較

	計 (n=1,217)	hMPV (n=114)	RSV (n=1,103)	p 値
年齢 (歳)	0.83 (0 m~18y)	1.83 (1 m~12y)	0.75 (0 m~18y)	<0.001
体温 (°C)	38.5 (36.0~41.7)	39.0 (36.6~41.7)	38.4 (36.0~41.5)	<0.001
SpO ₂ (%)	95.0 (30~99)	95 (70~98)	95 (30~99)	1.000
白血球数 (×10 ⁹ /L)	9.50 (2.50~34.1)	9.22 (2.50~27.0)	9.56 (3.28~34.1)	0.239
CRP (mg/dL)	0.73 (0~19.4)	1.5 (0.03~19.4)	0.69 (0~17.8)	<0.001
胸部 X 線異常	609, 50.0%	97, 85.0%	512, 46.4%	<0.001
入院期間 (日)	6 (0~45)	6 (3~33)	6 (0~45)	0.109
基礎疾患				
喘息の既往	87, 78.9%	21, 18.4%	66, 6.0%	<0.001
早産児	25, 2.3%	1, 0.8%	24, 2.1%	0.299
先天性心疾患	25, 2.3%	2, 1.8%	23, 2.1%	0.808
神経疾患	10, 0.9%	1, 0.9%	9, 0.8%	0.946
染色体異常	16, 1.5%	4, 3.5%	12, 1.1%	0.066
その他	4, 3.6%	0	4, 0.4%	—

(文献 11) より引用改変)

私には区別が付きません。其々が重症化する事がある点に注意が必要です。

表 RS ウイルス感染症の臨床病型

upper respiratory tract infection	rhinorrhea, cough, pharyngeal inflammation, with or without fever
laryngotracheobronchitis	stridor, croupy type cough, no wheezing
bronchitis	wheezing, retraction breathing, hyperinflation on chest X-ray
pneumonia	rales, shortness of breath, pulmonary consolidation on X-ray

(文献2) より引用)

ウイルスが深く侵入するにしたがって病態も異なり、重症化します。



図1 RSウイルス肺炎, 2歳男児の胸部X線写真

肺門部から末梢に淡い浸潤影がみられる。



図2 RSウイルス細気管支炎, 1歳0カ月男児の胸部X線写真(正面)

肺は過膨張であり, 横隔膜の平坦化がみられる。

淡い影や過膨張は見逃しやすい所見です。

早産児	在胎28週以下 (1,000g未満)	RSV流行開始時 12カ月齢以下
	在胎29～32週 (1,000g～1,800g)	RSV流行開始時 6カ月齢以下
	在胎33～35週	RSV流行開始時6カ月齢以下で リスクファクターを有する児
慢性肺疾患 (CLD) を有する小児	RSV流行開始時 24カ月齢以下	RSV流行開始前 6カ月間に治療実施
	RSV流行開始時 2～4歳	RSV流行開始時に 酸素吸入を実施
先天性 心疾患児	RSV流行開始時 24カ月齢以下	① 明らかな循環動態異常を有する ② 未手術、部分的修復術や姑息術 のみで症状が残存している ③ 術前・術後に肺高血圧を有する ④ 手術/心臓カテーテル検査が予定されている
		① 染色体異常、遺伝子異常を有する ② その他の先天奇形を伴い、呼吸器系の 機能的/器質的異常を有する 心筋症、不整脈等を有し 明らかな循環動態異常を示す
免疫不全児	RSV流行開始時 24カ月齢以下	T細胞機能異常を呈する原発性免疫不全症
		後天的T細胞機能低下状態 (HIV感染、免疫抑制剤等) 造血系悪性腫瘍・固形腫瘍・骨髄不全症 造血幹細胞/固形臓器移植 腎臓、リウマチ・炎症性疾患および 免疫抑制を伴う薬剤の使用
Down 症候群	RSV流行開始時 24カ月齢以下	① 気道の解剖学的または生理的・機能的異常 ② 呼吸器またはウイルス感染症の既往 ③ 免疫に関する検査データ異常 以上のいずれか一つ以上を呈する

RSV：RSウイルス

図 バリビズマブ適応・投与対象者の概要
(文献 1)～3) より作成)

シナジスに関しては下記のPDFに掲載しました。